

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況

平成17年4月から平成18年3月までの全体的な進捗状況

当組合は、地域密着型金融推進計画を達成し、組合員の皆様からより信頼され、信認される健全な金融機関となるために、17年度は下記のように取り組みました。

(1) 事業再生・中小企業金融の円滑化

創業支援に対応する新商品開発に着手し、「新規開業サポートローン」を導入しました。また、経営改善支援を重点課題として取り組んだ結果、経営改善支援先数47先に対し15先の債務者区分がランクアップするとともに、債権管理回収プロジェクトを中心とした再生業務を積極化させ、再生支援先26先を選定し再生に取り組んでおります。

(2) 経営力の強化

債務者の信用状況の変化に的確に対応するために、自己査定システムの改良や不動産担保評価システムを導入しました。また、ALMシステムを試行稼働し、各種リスクについての分析・検討を行いました。

(3) 地域の利用者の利便性向上

地域貢献に関する情報開示を平成17年度半期ディスクロージャーで実施しました。また、お客様の声を経営改善に反映させるための、アンケートを平成18年3月に開始しました。

「地域密着型金融推進計画」に基づく個別の取組みの進捗状況

項目	具体的な取組み	実施スケジュール		進捗状況		備考
		17年度	18年度	H17年4月～H18年3月	H17年10月～H18年3月	
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化						
(1) 創業・新事業支援機能等の強化	組合の支援姿勢醸成 / 新商品開発 / 情報収集し顧客へ提供	新商品開発取扱開始 / 情報収集し顧客へ提供 / 創業、資金に関する相談、融資に取組む引越	商品性見直し / 情報収集し顧客へ提供 / 創業、資金に関する相談、融資に取組む	<ul style="list-style-type: none"> ・支店長会議にて、地域密着型金融推進計画に基づいた中小企業支援、創業時の積極的な事業サポートなど当組合の取組方針を伝達した。 ・創業支援に対応する商品性の開発に着手し、他金融機関の商品性や当組合顧客の資金需要等を勘案し、原案を作成した。 ・産業クラスターサポート会議に2名参加し、新事業に関する情報を収集した。 ・中小企業支援に関する情報として中小企業庁発行の「中小企業施策利用ガイドブック」やリーフレット等を全店舗へ配布し、中小企業支援の制度等に関する情報を提供した。 ・中小企業支援センターの活動に関する情報をインターネット及び各種資料などから収集した。 ・顧客への訪問面談活動を積極的に展開し、新規事業等に関する情報収集を実施し、新事業の資金需要に対応した。 ・創業・新規事業に対応した商品として「新規開業サポートローン」を導入実施した。 ・支店長会議にて、「新規開業サポートローン」の取組方針、商品性について伝達した。また、起業者の育成と事業の多角化をサポートするための情報収集及び情報提供を積極化するように周知した。 ・東海地区産業クラスターサポート金融会議に2名参加し、起業者からのプレゼンによる事業の特殊性や特徴などの情報を収集した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業・新規事業に対応した商品として「新規開業サポートローン」を導入実施した。 ・支店長会議にて、「新規開業サポートローン」の取組方針、商品性について伝達した。また、起業者の育成と事業の多角化をサポートするための情報収集及び情報提供を積極化するように周知した。 ・東海地区産業クラスターサポート金融会議に2名参加し、起業者からのプレゼンによる事業の特殊性や特徴などの情報を収集した。 ・国民金融公庫（岐阜支店）主催による金融機関との協議会に参加し、各金融機関による創業・新事業支援への取組状況に関する情報を収集・交換し、特に、創業者支援のための融資商品情報や地域経済状況の情報を収集した。 	<p>創業・新規事業融資実績</p> <p>先数 : 5 融資実行額 : 595 百万円</p> <p>新規開業サポート融資実績</p> <p>先数 : 1 融資実行額 : 5 百万円</p>

				・国民金融公庫（岐阜支店）主催による金融機関との協議会に参加し、各金融機関による創業・新事業支援への取組状況に関する情報を収集・交換し、特に、創業者支援のための融資商品情報や地域経済状況の情報を収集した。		
項目	具体的な取組み	実施スケジュール		進捗状況		備考
		17年度	18年度	H17年4月～H18年3月	H17年10月～H18年3月	
(2)取引先企業に対する経営相談・支援機能強化	各種会義等参加し情報を提供/経営改善策を顧客と取組/顧客ランクの取りまとめ/研修会参加、資格を取得しレベル向上	各種会義等参加し情報収集/顧客訪問実施し経営改善策構築/顧客ランクの取りまとめ/研修会参加、資格を取得しレベル向上/内部研修実施	各種会義等参加し情報収集/顧客訪問実施し経営改善策構築/顧客ランクの取りまとめ/研修会参加、資格を取得しレベル向上/内部研修実施	<ul style="list-style-type: none"> ・審査事務担当者研修会（全信組連）1名参加。 ・経営改善、企業再生、回収処理のための体制整備として、「債権管理回収プロジェクト」を設置し、プロジェクト及び営業店による訪問面談活動を開始した。 ・審査部においても、審査業務を通じた経営改善指導を強化するとともに、審査部と営業店による債務者対応等の協議を実施した。 ・審査担当者会議（全信組連）に1名参加し、審査業務に関する意見交換や諸問題を討議し、取引先に対する審査手法の情報を収集した。 ・「債権管理回収プロジェクト」では、取引先との支援策の協議、提案を行い、事業再編や事業転換によるランクアップを図った。 ・取引先企業への早期対応による事業改善実現のため、本部及び営業店が適時協議し対策を立て、取引先への訪問活動を活発化した。 ・経営支援先47先に対する改善取組みを積極化した結果、15先がランクアップした。 ・経営支援アドバイザー2級の資格を1名取得。 	<ul style="list-style-type: none"> ・審査担当者会議（全信組連）に1名参加し、審査業務に関する意見交換や諸問題を討議し、取引先に対する審査手法の情報を収集した。 ・「債権管理回収プロジェクト」では、取引先との支援策の協議、提案を行い、事業再編や事業転換によるランクアップを図った。 ・取引先企業への早期対応による事業改善実現のため、本部及び営業店が適時協議し対策を立て、取引先への訪問活動を活発化した。 ・経営支援先47先に対する改善取組みを積極化した結果、15先がランクアップした。 ・経営支援アドバイザー2級の資格を1名取得。 	<p>経営支援選定による選定及びランクアップ結果</p> <p>要注意：16 5 要管理：27 10 破綻懸念先：3 - 実質破綻先：1 - 計 47 15</p>

項目	具体的な取組み	実施スケジュール		進捗状況		備考
		17年度	18年度	H17年4月～H18年3月	H17年10月～H18年3月	
(3) 事業再生に向けた積極的取組み	事業再生の手法分析 / 担当税理士等と連携し適合した再生を行う / 外部機関の専門家等を活用する	再生支援に関する情報収集 / 再生支援方法の研究 / 再生支援先の対象選定、実施	再生支援に関する情報収集 / 再生支援方法の研究 / 再生支援先の対象選定、実施	<ul style="list-style-type: none"> ・企業再生、回収処理のための体制整備として、「債権管理回収プロジェクト」を設置し、プロジェクト及び営業店による訪問活動を開始した。 ・事業再生に関する資料として中小企業庁発行の「中小企業施策利用ガイドブック」やリーフレット等を全店舗へ配布し、事業再生の制度等の情報を提供した。 ・中小企業再生支援協議会の活動に関する情報をインターネット及び各種資料などから収集した。 ・債務者の再生、経営改善等に関する事案を当組合の会計士等へ相談した。 ・再生支援先の対象選定した。 ・「債権管理回収プロジェクト」による取引先への訪問を活発化し、事業再編や事業転換など再生への取組みを実施した。 ・中小企業センターから再生支援に関する情報を収集し、再生の手法を研究した。 ・再生支援の方策を取引先及専門家（会計士・税理士）と適時協議し、再生手法を検討した。 ・東海信用組合協会主催の債権管理回収コースへ10名参加し、回収及び企業再生に関する外部研修を受講した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「債権管理回収プロジェクト」による取引先への訪問を活発化し、事業再編や事業転換など再生への取組みを実施した。 ・中小企業センターから再生支援に関する情報を収集し、再生の手法を研究した。 ・再生支援の方策を取引先及専門家（会計士・税理士）と適時協議し、再生手法を検討した。 ・東海信用組合協会主催の債権管理回収コースへ10名参加し、回収及び企業再生に関する外部研修を受講した。 	再生支援先対象選定及び再生先 破綻懸念先：24 2 実質破綻先：2 - 計 26 2
(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等 担保・保証に過度に依存しない融資の推進	キャッシュフローを重視した審査手法取入 / 信用リスク管理システムの構築を目指す / 既存商品性の改良	顧客財務管理強化 / 信用リスク管理システムの情報収集 / 既存商品の改良着手	顧客財務管理強化 / 信用リスク管理システムの情報収集 / 既存商品の改良実施	<ul style="list-style-type: none"> ・債務者の財務内容を分析する資料としてキャッシュフロー計算書を導入し、審査及び自己査定の関連資料とした。 ・信用リスク管理システム機能の拡充として、不動産担保評価システムの導入準備に取り組む。 ・不動産担保評価システムの導入に合わせ、既存の不動産担保の評価方法の見直しを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「不動産担保評価システム」を導入し、担保評価方法の精度向上とシステム化による事務量の軽減を図った。 ・大口債務者のキャッシュフロー計算書を定期的に作成し、財務管理を強化した。 ・信用リスク管理システムの機能アップを図るためシステム開発元へ提案を行った。 	

				<ul style="list-style-type: none"> ・大口先の現況把握を図るための資料として、四半期毎に債務者概況表、決算分析資料等を作成し事業動向、決算状況の確認を実施した。 ・信用リスク管理に関する情報収集として、総合リスク管理研修会（全信中協）への参加（1名）や各種関係機関からの情報資料等により、信用リスク管理手法の研究に取り組む。 ・ビジネスサポートローンの延滞状況及び事故発生等の分析を実施したところ、履行状況等に問題がないレベルであった。 ・「不動産担保評価システム」を導入し、担保評価方法の精度向上とシステム化による事務量の軽減を図った。 ・大口債務者のキャッシュフロー計算書を定期的に作成し、財務管理を強化した。 ・信用リスク管理システムの機能アップを図るためシステム開発元へ提案を行った。 ・事業者ローン商品に関する情報収集と他金融機関の取組み状況等の情報を収集し、ビジネスサポートローンの商品性改良に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者ローン商品に関する情報収集と他金融機関の取組み状況等の情報を収集し、ビジネスサポートローンの商品性改良に取り組む。 	
(4)担保・保証に過度に依存しない融資の推進等 中小企業の資金調達手法の多様化等	多種多様な資金調達方法の導入に向けた研究、準備に取り組む	融資取組事例等の情報を収集し分析に取り組む	融資取組事例等の情報を収集し分析に取り組む、組合取引に適合した融資手法の準備に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・ノンリコースローン、プロジェクトファイナンスに関する情報を関係各機関（全信中協、他金融機関）及び資料等で情報収集したが、信用組合レベルでの取組は該当がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノンリコースローン、プロジェクトファイナンスに関する情報を関係各機関（全信中協、他金融機関）及び資料等で情報収集したが、信用組合レベルでの取組は該当がない。 	

項目	具体的な取組み	実施スケジュール		進捗状況		備考
		17年度	18年度	H17年4月～H18年3月	H17年10月～H18年3月	
(5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化	事務指導強化 / 取扱要領見直し実施 / 苦情等実例の原因を分析し店舗へ還元	説明責任事務見直しに伴う情報収集 / 苦情等の発生原因分析 / 苦情等実例の原因を分析し店舗へ還元 / 説明責任事務改善指導	苦情等実例の原因を分析し店舗へ還元 / 説明責任事務改善指導 / 事務取扱要領の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・臨店検査時に審査部担当者が同行し、説明責任事務に関する点検、指導を実施した。 ・四半期ごとに契約書（写し）の交付状況を確認するとともに、説明責任事務見直しに関する店舗からの意見等を収集した。 ・信用組約約定書等の改定に着手し、双方署名方式導入に向けた協議を実施した。 ・相談苦情処理要綱に準じ苦情・要望記録書が各営業店から本部へ提出され、苦情等に対応した。 ・上半期の苦情・要望等の事例と原因等を取りまとめ、支店長会議において周知徹底した。 ・信用組約約定書等の改定は、リーガルチェック後の最終段階にあり書式が完成次第導入する。 ・信用組約約定書等の改定に合わせ、与信取引に関する顧客への説明態勢等に係る規程、要領等の改定に取組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・信用組約約定書等の改定は、リーガルチェック後の最終段階にあり書式が完成次第導入する。 ・信用組約約定書等の改定に合わせ、与信取引に関する顧客への説明態勢等に係る規程、要領等の改定に取組む。 	
(6) 人材の育成	能力向上を図る研修及び資格取得の奨励 / 研修参加者による内部研修の実施	参加研修会、資格取得対象・科目の選定 / 資格試験受験	資格試験受験 / 研修会参加者による内部研修会実施	<ul style="list-style-type: none"> ・融資事務を含む事務レベル向上のための各種研修会及び資格取得に取組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・融資事務を含む事務レベル向上のための各種研修会及び資格取得に取組む。 	<p>上半期 研修会 : 14回 参加者数 : 109名 合格者数 : 5名</p> <p>下半期 研修会 : 2回 参加者数 : 7名 合格者数 : 40名</p>

項目	具体的な取組み	実施スケジュール		進捗状況		備考
		17年度	18年度	H17年4月～H18年3月	H17年10月～H18年3月	
2. 経営力の強化						
(1) リスク管理態勢の充実	ALM システム実用水準稼働を目指す/各種システム開発・改修	ALM 試行稼働/各種システム改修・導入準備作業及び移行作業実施	各種システム検証と問題点改善	<ul style="list-style-type: none"> ALM システムの試行稼働と結果分析により「流動性ギャップ」ならびに「金利ギャップ」などのギャップ分析に必要な帳票について過去実績と対比・検討する事により実用水準での検討をした。 自己査定システムのパーゼル 対応のための改修については現行システムの開発先に対して問題提起をおこない 18 年度上半期までに試行段階の開発を終えた。 不動産担保評価のシステムの導入について準備作業を行い、17 年度下半期から一斉に入力を開始した。 不動産担保の掛け目を変更し担保処分に係わるリスクの低減に努めた。 破綻懸念先の引当率の算出上設けられていたキャップを解除し、より適切な引当額の算出に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 不動産担保の掛け目を変更し担保処分に係わるリスクの低減に努めた。 破綻懸念先の引当率の算出上設けられていたキャップを解除し、より適切な引当額の算出に努めた。 	
(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上	ALM システム活用/収益管理体制の整備策の実施/管理会計学習・周知	ALM システム活用しシュミレーション実施/管理会計実施/リスク対応融資金利・格付け検討実施/収益管理体制再検討	ALM システム活用しシュミレーション実施/管理会計実施/信用リスク対応融資金利・格付け検討実施/収益管理体制再検討	<ul style="list-style-type: none"> ALM システムの試行稼働と結果分析の継続。 シミュレーション結果と実績値を対比分析する事による各種パラメータ候補の決定のための作業とシステム内容の習得作業・学習作業を継続。 SKC-ALM におけるギャップ分析、流動性リスクの分析帳票について「過去実績」を出力し実用となる事の確認作業を行った。 月次決算による店舗別損益に基づき「減損会計」におけるキャッシュフローの把握のための参考資料とすべくその内容についての検討を実施し収益把握水準の向上を図るための取組とした。 利率水準は、現状を踏まえ、全体的に改善を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ALM システムの試行稼働と結果分析の継続。 シミュレーション結果と実績値を対比分析する事による各種パラメータ候補の決定のための作業とシステム内容の習得作業・学習作業を継続。 SKC-ALM におけるギャップ分析、流動性リスクの分析帳票について「過去実績」を出力し実用となる事の確認作業を行った。 月次決算による店舗別損益に基づき「減損会計」におけるキャッシュフローの把握のための参考資料とすべくその内容についての検討を実施し収益把握水準の向上を図るための取組とした。 利率水準は、現状を踏まえ、全体的に改善を図った。 	

				・信用リスク・格付に応じた金利設定については組合の現状を踏まえて検討をおこなう事とした。		
項目	具体的な取組み	実施スケジュール		進捗状況		備考
		17年度	18年度	H17年4月～H18年3月	H17年10月～H18年3月	
(3) ガバナンスの強化	半期開示の開示内容充実検討 / 毎期組合員集會等を開催し意見集約、反映 / ディスクロージャー誌を年度経過後4ヶ月以内開示の準備	半期開示の準備 / 各店舗組合員集會開催 / アンケート調査実施	早期にディスクロージャー誌開示 / 半期開示準備 / 各店舗組合員集會開催	半期開示準備 2005年11月30日付開示 利用者満足度アンケート調査実施。	利用者満足度アンケート調査実施。	
(4) 法令等遵守(コンプライアンス)態勢の強化	コンプライアンス体勢強化 / 資格取得	コンプライアンスプログラム制定 / 検査実施 / 研修会等実施 / 諸規程制定・改定 / 資格取得 / 情報システム監視強化	コンプライアンスプログラム制定 / 検査実施 / 研修会等実施	<ul style="list-style-type: none"> ・2005年度コンプライアンス・プログラムの制定。 ・臨店検査実施。 ・個人情報保護法関連諸規程の制定、懲罰規程の賞罰規程への改定をはじめとする諸規程の制定・改定。 ・コンプライアンス担当者会議・研修会開催。 ・コンプライアンス・オフィサー認定試験の受験。 ・個人データの漏洩・毀損等防止策、アクセスの記録及び分析、情報システムの稼働状況の記録及び分析、情報システムの監視ができるシステムの導入。 ・コンプライアンスマニュアル改訂 ・2006年度コンプライアンス・プログラムの制定。 ・各種チェックリストによる自己診断実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスマニュアル改訂 ・2006年度コンプライアンス・プログラムの制定。 ・各種チェックリストによる自己診断実施 	

項目	具体的な取組み	実施スケジュール		進捗状況		備考
		17年度	18年度	H17年4月～H18年3月	H17年10月～H18年3月	
(5) ITの戦略的活用	システム利用環境改善/グループウェア活用/「しんくみあのネット」活用	システム利用環境改善取組/ITによる改善効果の高い業務洗出し作業実施/「しんくみあのネット」活用策の周知	システム利用環境改善取組/ITによる改善効果の高い業務洗出し作業実施/「しんくみあのネット」活用策の周知	・「キャッシュフロー計算書作成ソフト」、「不動産担保評価システム」の導入により事務の合理化を実施 ・社内ネットワーク回線をIP-VPN網に切替る事でセキュリティを向上しつつスピードとランニングコストを同時に削減する策を実現。 ・本支店間のファイル授受等の必要ファイルについて必要部署・店舗担当者間での共有の実用化 ・必要なパソコンへの監視ソフトの導入による個人情報保護法対応のための取組の実施・継続 ・「しんくみあのネット」の活用策の検討実施	・「キャッシュフロー計算書作成ソフト」、「不動産担保評価システム」の導入により事務の合理化を実施 ・社内ネットワーク回線をIP-VPN網に切替る事でセキュリティを向上しつつスピードとランニングコストを同時に削減する策を実現。 ・本支店間のファイル授受等の必要ファイルについて必要部署・店舗担当者間での共有の実用化 ・必要なパソコンへの監視ソフトの導入による個人情報保護法対応のための取組の実施・継続 ・「しんくみあのネット」の活用策の検討実施	
(6) 協同組織中央協会の機能強化	全国信用組合中央協会、全国信用協同組合連合会との連携を強化し、市場リスクや収益性確保に取組んで行く	共同組織中央機関との連携強化	共同組織中央機関との連携強化	・全国信用組合中央協会、全国信用協同組合連合会との連携強化に努めた。	・全国信用組合中央協会、全国信用協同組合連合会との連携強化に努めた。	
3. 地域の利用者の利便性向上						
(1) 地域貢献等に関する情報開示	充実した情報開示提供/ホームページの拡充/ディスクロージャー誌の開示情報充実	ディスクロージャー誌開示内容検討し実施/ホームページの拡充	ディスクロージャー誌開示内容検討し実施/ホームページの拡充	・当組合が取り組む地域貢献活動についてディスクロージャー誌に画像などを用いる為の準備作業として撮影作業実施。 ・利用者からの質問が少ない為、信用組合に対する一般的なQ&A等を作成し、ホームページに公表する準備実施。	・当組合が取り組む地域貢献活動についてディスクロージャー誌に画像などを用いる為の準備作業として撮影作業実施。 ・利用者からの質問が少ない為、信用組合に対する一般的なQ&A等を作成し、ホームページに公表する準備実施。	
(3) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	アンケート調査実施/調査結果分析し経営に反映	アンケート内容を検討し実施/顧客に対する情報収集実施/調査結果を経営方針に反映させる	アンケート内容を検討し実施/顧客に対する情報収集実施/調査結果を経営方針に反映させる	・顧客に対する個別訪問、地域で行われる各種集会等に積極参加し情報収集に努めた。 ・アンケート調査内容、実施方法、スケジュールの検討を行い3月にアンケートを開始した。	・アンケート調査内容、実施方法、スケジュールの検討を行い3月にアンケートを開始した。	

項目	具体的な取組み	実施スケジュール		進捗状況		備考
		17年度	18年度	H17年4月～H18年3月	H17年10月～H18年3月	
(4) 地域再生推進のための各種施策との連携等地域と一体となった取組の推進	地域行事に参加し、地域活性化に向けた取組を推進する	行事等参加/行事の協賛、支援を行う/チャリティー行事に参加/各種団体等と連携/ホームページで情報発信/施設等の貸出等を行う。	行事等参加/行事の協賛、支援を行う/チャリティー行事に参加/各種団体等と連携/ホームページで情報発信/施設等の貸出等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域同胞との交流を深めるため、4月～5月に行われた同胞野遊会に積極的に参加。(岐阜、静岡、三重、愛知地域) ・地域の皆様とのふれあいを大切にするため、福井支店では町内夏祭りに模擬店を出店。 ・民族学校初級部サッカー中央大会においてボランティア活動を行う。 ・文化教室の一環として行われた、後援会の料理教室に協力。 ・各地域にて敬老旅行を企画し行う。 ・各地域にて行われた同胞新春講演会等に協賛にて協力した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域にて敬老旅行を企画し行う。 ・各地域にて行われた同胞新春講演会等に協賛にて協力した。 	
4. 進捗状況の公表						
進捗状況の公表	半期毎に進捗状況をホームページ等で開示	半期毎に進捗状況をホームページ等で開示	半期毎に進捗状況をホームページ等で開示	・半期毎に進捗状況をホームページ等で開示	・半期毎に進捗状況をホームページ等で開示	